



Agilent OpenLab CDS

バージョン 2.4

リリースノート

注意

マニュアル番号

M8410-96011 リビジョン 2.4

2019年2月

著作権

© Agilent Technologies, Inc. 2019

本マニュアルの内容は米国著作権法および国際著作権法によって保護されており、Agilent Technologies, Inc. の書面による事前の許可なく、本書の一部または全部を複製することはいかなる形態や方法（電子媒体への保存やデータの抽出または他国語への翻訳など）によっても禁止されています。

Agilent Technologies, Inc.
5301 Stevens Creek Blvd.
Santa Clara, CA 95051
USA

ソフトウェアリビジョン

本ガイドは改訂版が発行されるまで Agilent OpenLab CDS ソフトウェアのバージョン 2.4 以降のシステムに対応します。

保証

このマニュアルの内容は「現状有姿」提供されるものであり、将来の改訂版で予告なく変更されることがあります。Agilent は、法律上許容される最大限の範囲で、このマニュアルおよびこのマニュアルに含まれるいかなる情報に関しても、明示黙示を問わず、商品性の保証や特定目的適合性の保証を含むいかなる保証も行いません。Agilent は、このマニュアルまたはこのマニュアルに記載されている情報の提供、使用または実行に関連して生じた過誤、付随的損害あるいは間接的損害に対する責任を一切負いません。Agilent とお客様の間に書面による別の契約があり、このマニュアルの内容に対する保証条項がここに記載されている条件と矛盾する場合は、別に合意された契約の保証条項が適用されます。

技術ライセンス

本書で扱っているハードウェアおよびソフトウェアは、ライセンスに基づき提供されており、それらのライセンス条項に従う場合のみ使用または複製することができます。

権利の制限

米国政府の制限付き権利について: 連邦政府に付与されるソフトウェアおよび技術データに係る権利は、エンドユーザーのお客様に通例提供されている権利に限定されています。Agilent は、ソフトウェアおよび技術データに係る通例の本商用ライセンスを、FAR 12.211 (Technical Data) および 12.212 (Computer Software) 、並びに、国防総省に対しては、DFARS 252.227-7015 (Technical Data -Commercial Items) および DFARS 227.7202-3 (Rights in Commercial Computer Software or Computer Software Documentation) の規定に従い提供します。

安全にご使用いただくために

注意

注意は、取り扱い上、危険があることを示します。正しく実行しなかったり、指示を遵守しないと、製品の破損や重要なデータの損失に至るおそれのある操作手順や行為に対する注意を促すマークです。指示された条件を十分に理解し、条件が満たされるまで、**注意**を無視して先に進んではなりません。

警告

警告は、取り扱い上、危険があることを示します。正しく実行しなかったり、指示を遵守しないと、人身への傷害または死亡に至るおそれのある操作手順や行為に対する注意を促すマークです。指示された条件を十分に理解し、条件が満たされるまで、**警告**を無視して先に進んではなりません。

目次

| | | |
|----------|----------------------|-----------|
| 1 | はじめに | 4 |
| | 規制環境でソフトウェアをご使用のお客様へ | 4 |
| 2 | OpenLab CDS | 5 |
| | バージョン 2.4 | 5 |
| | バージョン 2.3 | 11 |
| | バージョン 2.2 | 14 |
| | バージョン 2.1 | 18 |
| 3 | バージョン履歴 | 22 |

1

はじめに

本書では、OpenLab CDS ソフトウェアの各リリースおよびアドオンの主な変更点を記載しています。

既知の問題および回避方法に関する情報も記載しています。

規制環境でソフトウェアをご使用のお客様へ

Agilent のソフトウェアを更新・変更する場合に必要となる、ソフトウェアの再バリデーション等についてはお客様の責任において実施してください。

ソフトウェアの更新・変更時には、個別の変更内容に対する検証だけではなく、ソフトウェアシステム全体における更新の範囲とその影響を分析し検証を行う必要があります。

2 OpenLab CDS

バージョン 2.4

インフラストラクチャサポート

OpenLab CDS バージョン 2.4 では、Workstation Plus、ファイルベースストレージを使用したワークステーション、およびクライアント/サーバーシステムを構成することができます。

ワークステーション、クライアントおよび Agilent 機器コントローラ (AIC) は、以下でサポートされます。

- Windows 10、Enterprise または Professional、64 ビット、バージョン 1703、1709、または 1803¹
- Windows 7 SP1、Enterprise または Professional、64 ビット

ネットワークで使用する場合、クライアントおよび Agilent 機器コントローラ (AIC) は、以下でサポートされます。

- Windows Server 2012 R2、Standard または Datacenter、64 ビット
- Windows Server 2016、Standard または Datacenter、64 ビット

OpenLab CDS で、ネットワークセキュリティに対応したリポジトリとして OpenLab ECM を新たにサポートします。以下の OpenLab ECM ソフトウェアがサポートされます。

- OpenLab ECM バージョン 3.5 アップデート 6 以降
- OpenLab ECM バージョン 3.6

バージョン 2.3 でサポートされているオペレーティングシステムから除外された OS はありません。

¹最新バージョンのサポートについては、アジレントの担当者にお問い合わせください。

バージョン 2.4

測定

優先サンプルの追加

- 優先サンプルが追加できるようになりました。現在の測定が完了したら、優先的に測定を開始するサンプルを追加できます。

保留中のシーケンスを編集

- 保留中のシーケンスを編集できるようになりました。保留中のシーケンスでは、すべてのアイテムの順番をプレビューで表示して、ランキューを中断することなく編集することができます。

LC/MSD で複数ゲインの測定をサポート

- 同じ質量で異なるゲイン設定のデータを測定できるようになりました。これにより、スループットが向上します（詳細は [LC/MSD ドライバーの更新](#) を参照）。

SIM イオンのオーバーライド

- シーケンステーブルで、測定メソッドの条件とは異なる SIM イオンを指定できるようになりました。

中断の理由付け（詳細は [データの完全性を強化](#) を参照）

機器コントロールの取得（詳細は [データの完全性を強化](#) を参照）

データ解析 および レポート

MS プロファイルモードのサポート

- プロファイルモードで MS データを取得、表示が可能となり、スペクトルピークから抽出した抽出クロマトグラムで定量できます。

バージョン 2.4

カスタム計算機能の表示と編集を改善

- 共通の標準スクリプトを採用することにより読みやすさが向上
- オートフィルとエラーの強調表示
- インデントとインラインヘルプ

マルチ MS ライブラリ検索

- 解析メソッドに最大 10 個のライブラリ（NIST 形式）を指定してスペクトル検索が可能になりました。

CSV ファイルに一括自動エクスポート

- CSV ファイルには質量、ピーク面積、ピーク高さ、リテンションタイムが含まれます。

UV 純度の感度を自動計算

- 1 つの化合物に設定した感度にもとづき、メソッドに含まれるすべての化合物の純度スレッシュホールドを自動で計算できます。

署名の順序および署名後に結果をロック可能（詳細は[データの完全性を強化](#)を参照）

データの完全性を強化

署名ワークフローのサポートを強化

- 決められた署名の順序（カスタマイズ可能）にしたがうよう設定できるようになりました。
- 同じレベルで複数の署名を許可または拒否できます。

署名の順序と署名後に結果をロック

- 管理者は署名の順序を決め、順番にしたがうように設定できます。設定が有効な場合、プロジェクトの署名設定で指定された順序と署名理由にしたがって、データ解析で署名を行う必要があります。さらに、新たに強化された署名機能として、最初の署名が適用されると、すべての結果が自動的にロックされます。

中断の理由付け

- 結果の変更に対する理由を有効にすると、ユーザーがランキューを中断した場合に理由の入力を求められます。

バージョン 2.4

ロック中のウィンドウのぼかし処理

- OpenLab CDS をロックすると、画面のテストや説明に機密情報または社外秘の情報が含まれる可能性があるため、アプリケーションの文字をぼかして表示します。

機器コントロールの取得

- マルチユーザー環境で、機器のマニュアルコントロール権限を付与されたユーザーは、その機器のコントロールを「取得」して設定を変更できます。他のユーザーは機器のランキューにランを追加することはできませんが、設定の変更は1度に1人のユーザーにしかできません。ユーザーの重複によるミスを減らすとともに、機器をコントロールしているユーザーだけが設定変更を管理できるようになります。

アドオン

OpenLab CDS Workstation Plus およびクライアント/サーバーシステム向けに、新しいツール QualA アドオンソフトウェアを導入

- 将来的にマイナーリリースがあった場合に、お客様にてソフトウェアの適格性の評価が可能です。

アドオン Migration Tools for OpenLab CDS のバージョン 1.4 を搭載。以下のソフトウェアのワークステーションから CDS 2.4 のワークステーションへのアップグレードが可能です。

- ChemStation C.01.05、C.01.06 または C.01.07
- EZChrom A.04.05、A.04.06 または A.04.07

OpenLab CDS ワークステーションおよびクライアント/サーバーソフトウェアで、Allotrope ファイルの作成と自動エクスポートをサポートします。Allotrope データフォーマット (ADF) ファイルはユニバーサルなデータ形式です。Allotrope データ形式とその構造の詳細についてはウェブサイト (<https://www.allotrope.org>) を参照してください。

- 自動エクスポートでは、結果セットまたは注入が完了すると、Allotrope データを自動で作成します。ADF ファイルは、LC-UV 分析の生データ (クロマトグラム、スペクトル)、メタデータ、およびオリジナルの OpenLab CDS ファイルで構成されます。
- 結果セットまたはシーケンスから手動でエクスポートできます。

バージョン 2.4

ドライバーの更新

OpenLab CDS 2.4 に付属する Agilent 機器ドライバーパッケージ

| RC.NET 機器ドライバー | ドライバー ソフトウェア リビジョン | OpenLab CDS 2.4 にデフォルトで インストール |
|--------------------------|--------------------------|--------------------------------------|
| Agilent LC | A.02.19.18 SR3 | x |
| Agilent ELSD | A.01.07 (ビルド 12) | |
| Agilent LC/MS SQ | 2.2.2260 | x |
| Agilent GC | 3.0.532 | x |
| Agilent GC/MS SQ | 1.3 (ビルド 54) | x |
| Agilent 490 マイクロ GC | B.01.12.1.2125 | |
| Agilent ヘッドスペース | B.01.07.3 | |
| Agilent 35900E A/D コンバータ | 2.3 (ビルド 53) | x |
| Agilent SS420X A/D コンバータ | A.01.01 (ビルド 65) | x |
| Agilent Data Player | 2.2.6 | x |
| Agilent CTC PAL 3 | A.01.04.1 | |
| Agilent CTC PAL-xt | B.01.08 | |

Agilent 以外の機器コントロールドライバー

サポートされる他社製機器の最新リストについては、以下の OpenLab CDS 製品ページを参照してください。

www.agilent.com/chem/openlabcds

LC/MSD ドライバーの更新情報

ゲインによるメソッドの編集

- メソッド編集では EMV の代わりにゲインを使用します。過去のメソッドの EMV は、ゲイン = 1 にリセットされます。メソッドで一定ゲインを使用することで、規制環境下でデルタ EMV の変化を管理する必要がなくなります。

2つの測定モードとメソッドのマニュアル変換

- ドライバーでは、SIM（選択イオンモニタリング）とスキャンの2種類のスキャンタイプを指定できます。スキャンタイプ「スキャン」は分析時間全体を通して取り込まれます。スキャンメソッドに矛盾があると、マニュアルメソッド変換ウィンドウが開いて、メソッドを修正するためのヒントが表示されます。また、「目標ポイント/秒」をチェックして、ピークのポイント数を指定することもできます。この「目標ポイント/秒」の値に合うように、スキャンタイムとドウェルタイムはドライバーによって自動的に計算されます。

タイムセグメントは監査証跡で管理

- スキャンデータはすべてのタイムセグメントを通して取り込まれます。タイムセグメントの変更は監査証跡には記載されますが、スキャンのタイムセグメントは UI には表示されなくなりました。

重複した質量のスキャンの区別

- 複数のスキャンセグメントで質量範囲に重複があり、それらのすべてのパラメータ（フラグメンタ、ゲイン、極性）が同じ場合、データ解析では、重複した質量のスキャントレースは区別できません。いずれかのパラメータが異なれば、それをもとにデータ解析でスペクトルデータを区別できます。

バージョン 2.3

バージョン 2.3

OpenLab CDS バージョン 2.3 では、Workstation Plus、ファイルベースストレージを使用したワークステーション、およびクライアント/サーバーシステムを構成することができます。

ワークステーション、クライアントおよび Agilent 機器コントローラは、以下でサポートされます。

- Windows 10、Enterprise または Professional、64 ビット、バージョン 1607 以降
- Windows 7 SP1、Enterprise または Professional、64 ビット

ライセンスの更新

- OpenLab CDS バージョン 2.3 にアップグレードする時は、SubscribeNet でライセンスファイルを更新してください。

アップグレードのインストール後に機能確認

測定

ランキューに LC シャットダウンオプション（シャットダウンアクション）を設定可能

ランキュー内のラン/シーケンスの測定順を変更

- ランキュー内で保留中のアイテムの順番を編集できます。

機器を使用しているユーザーの表示

シーケンスサマリレポートを自動化

- シーケンスをキューに追加する時、シーケンスサマリレポートを指定できます。

サンプルロケーションのグラフィカルディスプレイ

- Agilent LC インジェクタの使用時に、シーケンステーブルでサンプルロケーションを表示できます。

バージョン 2.3

データ解析 および レポート

3D マトリックスから 2D (UV) シグナル抽出

- 特定のクロマトグラムの抽出パラメータを定義し、抽出されたクロマトグラムから化合物を同定および定量できます。

スペクトルおよびシグナル抽出のための等高線表示

- 3D UV マトリックスを等高線表示し、メソッドを最適化するツールです。

MS ピーク純度

- SCAN および SIM/SCAN データ用の MS ピーク純度です。同定されたピークまたはすべてのピークに対して MS ピーク純度を計算するよう解析メソッドで設定できます。

質量の注釈

- UV および MS クロマトグラムのピークに基準ピーク m/z のラベル付けが可能です。

クロマトグラムのスムージング

- 解析メソッドでスムージングパラメータの設定が可能です。

別プロジェクトのメソッドの読み込み

- 権限を持つユーザーが別のプロジェクトを参照したり、そのメソッドを開いて現在のプロジェクトにコピーを保存し、結果セットに関連付けることが可能です。

複数のプロジェクトからのクロマトグラムを重ね描き

- 他のプロジェクトからデータを読み込んで結果を比較できます。

MS チューニングレポート

- データツリーから選択した注入の MS チューニングレポートを表示できます。

条件付き書式およびレポートを強化

- 複数の色の選択を含め、テーブル、フィールド、およびマトリックスの条件付き書式の設定が可能です。

ChemStation および AIA ファイルの自動エクスポート

- シーケンス実行中に、生データ (ANDI/AIA、CH) を自動的にエクスポートするよう解析メソッドを定義できます。

バージョン 2.3

ChemStation/EZChrom メソッドの読み込み

- ChemStation または EZChrom の結果セットを開くことができます (複数のメソッドを自動的にインポートし関連付けるオプション)。

大容量ファイル/データを処理するために、OpenLab CDS Data Analysis を 64 ビットアプリケーションへ更新。

ドライバーの更新

OpenLab CDS バージョン 2.3 でインストールされるドライバーパッケージ (バージョン) :

| | |
|-------------------------|------------|
| Agilent LC | A.02.19 |
| Agilent LC/MSD | A.01.02.35 |
| Agilent GC | B.01.03 |
| Agilent GC/MSD | A.01.02 |
| Agilent 35900E A/D | 2.3.0 |
| Agilent SS420x インターフェイス | A.01.01 |
| Agilent Data Player | A.02.01 |

USB メディアに含まれるその他の RC.NET ドライバー :

| | |
|---------------------|-----------|
| CTC PAL3 | A.01.04 |
| PAL XT | B.01.08 |
| ELSD | A.01.07 |
| Agilent 490 マイクロ GC | 1.12.3 |
| Agilent ヘッドスペース | B.01.07.2 |

Agilent 以外の機器コントロールドライバー

サポートされる他社製機器の最新リストについては、以下の OpenLab CDS 製品ページを参照してください。

www.agilent.com/chem/openlabcds

バージョン 2.2

インフラストラクチャサポート

OpenLab CDS バージョン 2.2 では、Workstation Plus、ファイルベースストレージを使用したワークステーション、およびクライアント/サーバーシステムを構成することができます。

ワークステーション、クライアントおよび Agilent 機器コントローラは、以下でサポートされます。

- Windows 10、Enterprise または Professional、64 ビット
- Windows 7 SP1、Enterprise または Professional、64 ビット
- Windows 8.1、Enterprise または Professional、64 ビット

測定

シーケンス結果フォルダーおよび名前の自動作成

プロジェクト間でテンプレートファイルを共有

- 複数のプロジェクト間でシーケンスとテンプレートの共有が可能です。

フェイルオーバー モードのサポート

- ネットワーク接続障害が発生した場合に AIC からサンプルを追加できます。

68xx から 78xx および Intuvo へのメソッド変換

- 68xx で作成した測定メソッドを開いて 78xx または Intuvo で使用することが可能です。

バージョン 2.2

データ解析

スナップショットのサポート

- 取り込み中のサンプルから表示、解析および印刷ができます。

MSD ChemStation データ形式の OpenLab CDS への変換およびインポート

ユーザー権限とバージョンアクセスの強化

- 電子署名で結果セットを自動ロック
- 結果セットが署名またはロックされてもバージョンラベルに変更なし
- ロックされた結果セットへの署名が可能
- 古いバージョンの解析メソッドおよびシングルランの結果セットの読み込みが可能
- MS 機能に対するユーザー権限管理を強化

レポートの強化

- マウスホイールでのレポートプレビューのズームイン/ズームアウト
- ヘッダーまたはフッターにデータフィールドを追加可能
- 式のフィルター、グループ化および並べ替えでのカスタムフィールドを強化
- カスタムテーブルの書式設定を更新
- グループ使用時に重複したピークを削除する新しいオプション
- 繰り返しのあるテーブルの並べ替えを定義可能

テンプレートドキュメントツールの統合

- テンプレート作成者によるレポートテンプレートの文書化

MS データの強化

- メソッドをオーバーライドするパラメータの値を、テーブルおよびシングルフィールドでレポート
- クオリファイア結果（リミットライン）をグラフィカルに表示、また、見つからないクオリファイアをレポート

バージョン 2.2

アドオン

以下のアドオンが OpenLab CDS でサポートされます（*追加のライセンスが必要な場合があります）。

- Sample Scheduler for OpenLab のサポート
- Gel Permeation Chromatography (GPC)* アドオンのサポート
- 旧バージョンのデータファイルに手動でエクスポート：
ChemStation Edition *.D (ch を含む)
AIA
- OpenLab 用 Match Compare* のサポート

ドライバーの更新

OpenLab CDS バージョン 2.2 でインストールされるドライバーパッケージ（バージョン）：

| | |
|-------------------------|-----------|
| Agilent LC | A.02.16.6 |
| Agilent LC/MSD | A.01.02 |
| Agilent GC | B.01.02 |
| Agilent GC/MSD | A.01.01 |
| Agilent 35900E A/D | 2.3.0 |
| Agilent SS420x インターフェイス | A.01.01 |
| Agilent Data Player | A.01.02 |

USB メディアに含まれるその他の RC.NET ドライバー：

| | |
|---------------------|-----------|
| CTC PAL3 | A.01.03 |
| PAL XT | B.01.08 |
| ELSD | A.01.07 |
| Agilent 490 マイクロ GC | B.01.12 |
| Agilent ヘッドスペース | B.01.07.2 |

バージョン 2.2

Agilent 以外の機器コントロールドライバー

- Waters e-Alliance、Alliance、Acquity および Acquity H-Class LC 機器をサポート（英語版のみ）
- Bruker/Varian CP-3800/3900 と Scion 430/450/456 GC 機器をサポート（英語版のみ）
- Valco Instruments の次のバルブをサポート（英語版のみ）：
EMHCA-CE、EMHA-C、EMTCA-C
- Shimadzu GC および LC 機器をサポート
- Thermo Accela / Surveyor LC 機器をサポート（英語版のみ）

バージョン 2.1

インフラストラクチャサポートの変更

OpenLab CDS ワークステーション

- 新しいワークステーション製品：ファイルベース（ローカルファイルシステム）ワークステーション（保護あり/保護なし）が導入されました。Workstation Plus（Content Management 使用。旧称「OpenLab CDS ワークステーション」）に加えて、ファイルベース（ローカルファイルシステム）のストレージを使用した新しい低フットプリント（メモリ使用量の少ない）のワークステーションをご利用できるようになりました。オプションで、OpenLab CDS の外部からこのプロジェクトフォルダーを変更できないように保護することもできます。

Windows 10 のサポート

- ワークステーション、クライアント、および Agilent 機器コントローラは、Windows 7、Windows 8.1 および Windows 10 でサポートされます。

測定

デュアル注入

- Agilent GC デュアルタワーを使用して、高い処理能力をもつデュアル同時注入シーケンスを作成できます。

機器のダイナミックコンフィグレーション

- 限定した機能に対して、コントロールパネルから機器を再コンフィグレーションすることなしに、機器のコンフィグレーションを測定クライアントから直接コンフィグレーションすることができます(ダイナミックコンフィグレーション)。これが使用できるのは、LC オートサンプリングキャピラリーのコンフィグレーション、GC 注入口のライナーやシリンジのコンフィグレーション、GC カラムのコンフィグレーション、7890GC での注入口のフロントからバックへの変更などです。この機能により、ファームウェア更新後の機器の再コンフィグレーションも不要になります。

バージョン 2.1

測定クライアントからの印刷

- 測定クライアントから測定メソッドとシーケンステーブルをレビューおよび印刷できます。印刷する前に、測定メソッドとシーケンステーブルを保存してください。どちらのレポートも、PDF、Word、Excel として保存、またはプリンタから印刷できます。コンフィグレーションレポートも、機器ステータスダッシュボードから印刷することができます。

メソッドパラメータのオーバーライド機能

- 測定中、またはポストランのデータ解析中に、LC/MS 測定メソッドのパラメータをシーケンステーブルで指定した値でオーバーライド（メソッドパラメータの設定よりシーケンスでの設定を優先させること）ができます。これができるのは、LC/MS 測定メソッドのイオン源パラメータとフラグメント、および化合物アマウントです。

LC/MS の同時 SIM/スキャン測定

分析後に検出器をオフ

- 分析後の指定時間が経過した後に、LC 検出器ランプを自動的にオフすることができます。

データ解析

ブランク減算

- ブランク減算を使用すると、分析対象成分のみの影響を考慮したクリーンなクロマトグラムを計算できます。

クオリファイアイオンのサポート

- ターゲットイオンに対するアマウント比を提供するクオリファイアイオンを使用することで、同定するターゲット化合物が正しいものであることを証明します。

メソッドへのマニュアル積分の保存

- 関連付けた解析メソッドにマニュアル積分をコピーできます。

データ解析検索ツール

- Content Management とクライアント/サーバーシステムを使用するワークステーションでは、テキストや時間を指定して、結果を検索できます。

バージョン 2.1

高品質レポート

- ビットマップではなく、ベクタグラフィックスを使用することできれいな画像を提供します（クロマトグラムとスペクトル）。また、長期保存用の PDF レポートフォーマットを追加しました（PDF/A-1b フォーマット）。

ドライバーの更新

すべてのドライバーパッケージは新しいバージョンに更新されます。また、その他の RC.Net ドライバーも提供されます：

OpenLab CDS バージョン 2.1 でインストールされるドライバーパッケージ（バージョン）：

| | |
|-----------------------------|---------------|
| Agilent LC | A.02.14 |
| Agilent LC/MS SQ | A.01.01 |
| Agilent GC | A.03.02 |
| Agilent GC/MS SQ | A.01.01 |
| Agilent 35900E A/D | B.01.01.15272 |
| Agilent SS420x インターフェイス（新規） | A.01.01 |
| Agilent Data Player | A.01.02 |

USB メディアに含まれるその他の RC.NET ドライバー：

| | |
|---------------------|---------|
| CTC PAL3 | A.01.03 |
| PAL XT | B.01.08 |
| ELSD | A.01.05 |
| Agilent 490 マイクロ GC | B.01.12 |
| Agilent ヘッドスペース | B.01.07 |

バージョン 2.1

Agilent 以外の機器コントロールドライバー

- Waters Acquity と Acquity H クラスシステム (v A.1.2) のドライバーをサポート
- Bruker/Varian CP-3800/3900 と Scion 430/450/456 GC 機器 (A.02.01) をサポート
- Valco Instruments の次のバルブをサポート (英語版のみ) : EMHCA-CE、EMHA-C、EMTCA-C (A.01.01)
- サードパーティ製の機器サポートの強化 (CDS 2.1 インストールメディアには含まれていません。これらは、別にリリースされます)
- Shimadzu GC と LC (今後、リリース予定)
- Thermo Accela / Surveyor LC (今後、リリース予定)
- Waters e-Alliance LC (今後、リリース予定)

3

バージョン履歴

OpenLab ソフトウェアのリリース時の既知の問題および回避方法については、オンラインで以下に掲載するソフトウェアステータス報告ファイルを参照してください。

[http://www.agilent.com/en-us/support/software-informatics/openlab-software-suite/openlab-chromatography-data-system-\(cds\)/m84xx](http://www.agilent.com/en-us/support/software-informatics/openlab-software-suite/openlab-chromatography-data-system-(cds)/m84xx)

すべての Agilent ソフトウェア製品の最新の問題に関する情報については www.agilent.com を参照してください。

本書の内容

本書では、OpenLab CDS ソフトウェアの
各リリースの主な変更点を記載しています。

www.agilent.com

© Agilent Technologies, Inc. 2019

Edition 02/2019

M8410-96011

